

1 学校教育プログラムの充実

- ホスピタリティ（おもてなしなど）の教育プログラムを開発し、県立高校に専門コースを設置
- 県立高校に、商品のデザインを専門とした学科を創設
- 幼児、小・中・高校生の段階に応じたバーチャルリアリティを活用した職業体験を行うなど新たなキャリア教育の機会を創設

2 ふるさと学習とグローバル教育

- 万葉集や富山湾、売薬など「ふるさと」を学ぶ学科の創設
- 英語などで富山を世界に紹介する「とやまジュニアガイド」の育成
- 県立高校において、留学生の受け入れの推進、中国語習得モデル校の指定

3 地域の魅力の向上

- ボランティア活動を実施した場合にポイントなどが付く制度の導入検討
- 薬局など便利な場所での簡易な健康診断を行う「健康の気づきの拠点」の設置
- 人が集うエリア周辺へのスポーツ施設の設置による地域のにぎわい創出
- 自動運転バスの交通不便地域での導入検討
- 最先端技術を活用して災害情報などをみんなで共有する通信システムの整備



目標 日本で最も人が育ち、集い、活躍することができる県

みなさんとともに魅力と活力あふれる富山県を目指します

- 日本の人口は今後、大幅に減少していくとみられており、富山県の人口も何もしないと2045年には、現在の106.7万人から79.2万人と30万人近くも減少していくと見込まれています。
- このほかにも色々な課題がありますが、みなさんが将来に夢をもち、未来を自ら切り拓き、富山県の将来を担う大人になってもらうことが何よりの願いです。そして、30年後の富山県が魅力と活力があふれる県となるよう、みんなの力を合わせてがんばっていきましょう。



富山県知事政策局 TEL 076-444-9609

ホームページ http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1002/index.html

みんなが働き盛りの大人になるころ 活気と魅力あふれる元気な富山県に!!

富山県の30年後を見通した構想「富山県経済・文化長期ビジョン」ができました



なぜ長期ビジョンが つくられたのですか？

私たちの悲願だった北陸新幹線が開業して、多くの方が富山県を訪れていますが、北陸新幹線の開業は同時に、「とやま新時代」のスタートでもあります。

私たちの富山県が元気な県になるよう未来の社会を予測しながら、長い目で将来を考えるためにビジョンを作りました。

長期ビジョンはどのような内容ですか？

みなさんが成長し、働き盛りになる約30年後の2045年のビジョンです。

将来の富山県のあるべき姿（将来像）を達成するために、これから取り組んでいくことを「経済」「文化」「人づくり」の3つの柱で描いています。

なぜ「30年後」を想定しているの？

約30年後の2045年は県内の高齢者の割合が減少する、人口構想の転換点を迎えることが想定されています。

ビジョンの特徴

次の3つの点がビジョンの特徴です。

みなさんが働き盛りになる
約30年先の2045年の
「未来」を構想する
ビジョンです。

将来の県づくりに向けて、
チーム富山で力を合わせていくために、
県民のみなさんと将来像を
共有するビジョンです。

未来を構想するって？

・時間をかけ取り組まなければならないことが、後回しにならないよう、今から考えておくことが大切です。

「富山県の強み」を
改めて見つめ直し、さらに磨き、
活かしていくためのビジョンです。

「富山県の強み」って？

- ① まじめで**チャレンジ精神旺盛**な県民性
- ② 美しい**自然**、豊かで清らかな**水**、おいしい**食**
- ③ 伝統文化の**継承**、**文化的基盤の充実**
- ④ 全国トップクラスの**暮らしやすさ**
- ⑤ **教育**に力を入れる県

ビジョン策定の視点

ビジョンは次のような視点でつくりました。

①「経済」と「文化」を一緒に考えることが必要です。

例えば、富山県のものづくり製品のデザインを工夫することで、他の製品と異なる価値を加え、より魅力的な製品を作ることができます。このように「経済」と「文化」を別々に考えるのではなく、一つの視点で考えることが必要です。

②第4次産業革命に対応することが重要です。

ロボットや人工知能(AI)*がますます発達していくことから、これに対応できる社会をつくっていくことや、人材を育てることが重要となります。

③グローバル化に対応することが必要です。

これから大きく成長していくアジア諸国などとも交流して、その成長のエネルギーを富山県に取り込んでいくことが必要です。

④富山のアイデンティティ(個性)を継承していくことが必要です。

自然、水、食がちなって、暮らしやすさを形成している点が富山県のアイデンティティ(個性)といえます。次の世代のみなさんへ、また、その次の世代へ、富山のアイデンティティと伝えていくことが必要です。

⑤県民のみなさんがいつまでも活躍できる社会をつくっていくことが必要です。

高齢の方がいつまでも健康に働くことができるなど、高齢者や若者、女性、障害のある方など県民のみなさんが活躍できる社会を構築することが必要です。

*人工知能(AI)…人間の知的活動をコンピューターに肩代わりさせることを目的とした技術のことです。

ビジョンを実現するための構想

「経済」「文化」「人づくり」のそれぞれの分野の将来の構想の内容を紹介します。

経済

実現のための構想

1 産業を育て新たな価値を創出

- 富山のものづくりの技術を活かした、宇宙で太陽光発電するシステムの研究検討
- 石油などの化石燃料*の代わりに水素を日常的にエネルギーとして活用する社会を構築
- バイオ医薬品*などの研究開発や人材の育成を進め、世界に注目される薬都とやまへ
- ロボット技術を活用して、高い品質の農作物を効率的に育てる農業を構築
- 北陸新幹線を大阪まで伸ばし、「大ゴールデン回廊」を創出

*化石燃料…石炭、天然ガスなどのこと。枯れた植物などが何億年の時間をかけて化石となり、やがて石油などになったと考えられていることからこう呼ばれています。
*バイオ医薬品…動物の細胞などを用いて生産される医薬品のこと。これまでは治療が難しかった病気の改善に役立っています。

2 グローバルに戦略を展開

- 工業製品や農林水産物の輸出を戦略的に拡大
- 空港施設を整備し、富山きとときと空港の機能を強化
- 県内の観光地(立山黒部、富山湾など)の魅力の向上

北陸・信越、関西圏、中京圏、首都圏をネットワーク化して世界的な経済・文化圏となる「大ゴールデン回廊」の創出へ



3 個人の能力を磨き上げる 人材戦略の推進

- ロボット技術を使って高齢者が働きやすい環境を整備
- 若者、女性、障害者などがより活躍できるように、自分の力を伸ばせるキャリアアップを支援

目標 日本で最もイノベーション*が生まれやすい県

*イノベーション…それまでのモノや仕組みなどに対して、新しい技術や考え方を取り入れて新たな価値を生み出して社会的に大きな変化を起こすことです。

文化

実現のための構想

1 生活の中に溶け込んだ文化の形成

- 富山のアートとデザインの力を活かして地域の魅力を向上
- アニメなどのクリエイター(制作者・芸術家)を育成し、創造的な文化(クールトヤマ)を形成
- 海と山が近接している富山の中山間地域*の魅力を活かして、新たな地域のコミュニティを形成

*中山間地域…山間地とその周辺の地域を指します。中山間地域は日本の国土面積の約7割を占めていて、国土の保全(ほぜん)など多くの機能があり、住民の生活を守る上で大切な地域です。

2 とやまの文化を世界へ発信

- 国際的な文化イベントを県内で実施
- 寺院などの文化財や文化施設で、日本文化の体験などの特別なイベントを開催
- 国内外で活躍する富山県ゆかりの「富山サポーター」のネットワークを構築
- 外国人シェフにとやまの食の研修を行い、とやまの食文化を伝承



3 文化芸術の力で元気なとやまに

- 学校や地域において、一流芸術家による指導を充実
- 富山県美術館など環水公園で子どもが文化に出会う場を創出
- VR(バーチャルリアリティ)*を活用して、映像、音、においなどで臨場感あふれる鑑賞や体験ができる場の構築

*VR(バーチャルリアリティ)…コンピューター技術などで、仮想世界に現実の人間の動きを反映させて、現実ではないが現実のように感じさせる技術のことです。

目標 日本で最も「心の元気」が感じられる県